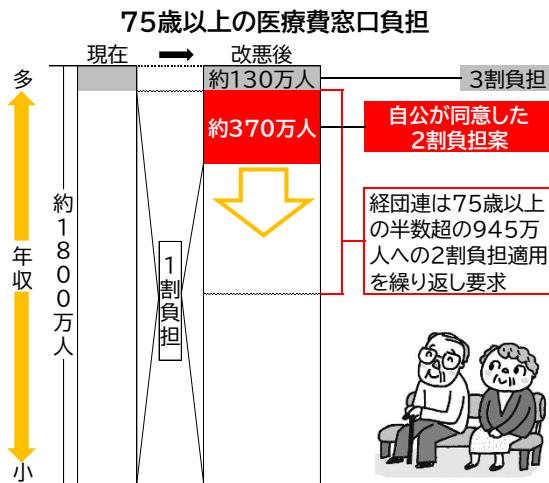




人生100年時代は自己責任で？

75歳以上の医療費の窓口負担が1割から2割に値上げされようとしています。

自分はそんなに収入が高くないから大丈夫とたかをくくっている皆さん。財界のもくろみは図の通りです。これを突破口に、介護も医療も自己負担増をもくろんでいます。



医者に行くのにお金が必要、ということがどれだけ人を不安にさせるか、困っている方の相談に乗っているとよくわかります。「高額医療限度額制度があっても、毎月医療費はかかる。病気で働けないのに」「医者に行くお金がなくて薬が切れたまま。」

どんなに困っていても医療扶助を受けられない限り、医療費はタダになりません。介護保険も保険料と別に利用料を取られる。お金のあるなしで命のセーフティネットが差別されるシステムです。

消費税増税分は社会保障にいくのではなかったのか？

自民党と公明党で勝手にこんな大事なことを決められてはたまりません。ちゃんと国会開いて審議して下さい。

安心して医療介護が受けられる世の中に！

環境負荷のない再生エネルギーを

八高山に建設予定のメガ風力発電(仮称ウインドパーク遠州東部風力発電事業)方法書への県の意見概要(株シーテックのHPより)

- 環境保全及び災害防止について地域住民が不安視しており、積極的に情報を提供するなどでいねいに対応すること
- 施工性、経済性及び用地確保の容易性よりも環境に及ぼす影響の回避または軽減を優先し、重大な影響が認められる場合は、風力発電設備等の配置や基数、規模の見直しを行なった上で、その経緯も含め準備書で示すこと

また鳥の渡りやクマタカなどは、県の専門家と情報共有し意見を求め、景観、ハイキングや観光などへの配慮、水や土砂災害などへの影響回避などに言及しています。

地元の野鳥の会の皆さんの調査では、八高山付近を横切っていたサシバは今年3,800羽を越えました。まさに渡りルートに直交する風力発電です。日本野鳥の会も位置や面積、高さの変更を求める意見書を出しています。



サシバ

また建設予定地は土砂崩れによる通行止めが発生している場所の上で砂防ダムの上流です。環境に大きく負荷をかけるエネルギー政策はSDGsの理念とも違うと思います。

リニアから大井川の水と自然を守る

島津幸弘前衆議院議員と、市長・掛川市農協組合長との懇談を行ないました。共産党は今、国会議員等と共にキャラバンを組んで大井川流域自治体を回っています。皆さん、命の水が涸れることがないように、二度と戻らない自然破壊につながるような、の一点で考えは一致しています。

リニア工事は9兆円とも言われる巨大プロジェクトです。コロナで人の動きが必ずしも必要不可欠ではないことを思い知った今、赤字になつていくJR東海を応援して国策としてする事業なのか問い直すべきでしょう。

13日には、「リニアから大井川の水と自然を守る掛川・小笠の会」が発足しました。知事に対し、工事の着工を認めないよう、に要請する署名活動をスタートさせています。

オール静岡の力で市民にとって大切な大井川の水(水道水・農業・工業用水である「いのちの水」を守るために工事の着工を止めましょう。

